

研究テーマ

**地域課題の改善を図る学習活動を通して、
将来、地域で活躍し、地域に貢献できる人材を育む。**

岐阜県立飛騨高山高等学校

飛騨高山高校ってどんな学校ですか？

普通科と農業科、商業科、生活産業科の4つの大学科を設置する学校です。

① 専門学科では、科目「課題研究」を中心にそれぞれの学科に関する地域課題を設定し、その課題解決を図る調査・研究を地域と連携しながら取り組んでいます。また、専門学科では、学科、年度によって異なりますが就職者が5～6割を占め、そのうち5～6割が地元企業に就職します。

② 飛騨地域の仕事はあっても人がいないという現状は、地元産業において深刻な問題であり、地元企業を知り、理解と、確実なマッチングを図るため、ふるさと企業・OB & 生徒交流会を全校生徒対象に開催しています。



この研究テーマを選んだ理由

- ① 各学科で地域連携は積極的に進めているが、複数学科が併設されている本校の利を生かした取組へ発展させたい。
- ② 飛騨高山の「おもてなしの心、豊かな自然環境、伝統文化、ブランド力」といった地域資源についての理解を進めたい。
- ③ SDGs を意識し、地域活性化と持続可能な発展を考え、担っていくため、地域資源を有効活用できる力を付けたい。 と考えました。

取り組んだ内容とその成果と課題

○ IoT を活用した労働の負担減と生産性向上の両立を図る研究(動物科学科)

- ◇ 本校に合った IoT 機器を牛舎に導入し、畜産経営について深く学ぶことができた。
- ◇ IoT を活用し、負担削減と生産性を上げることができた。
- ◆ 園芸科学科のモニタリングデータ(気象データ)を取り入れ、畜産経営に活かしていきたい。

○ 地域特産品を利用した六次産業化への研究(食品科学科)

- ◇ 地元スーパーで「山ぶどうジャム」を販売と認知度調査を実施できた。
- ◇ 校内において「えごまクッキー」の販売とアンケート調査を実施できた。
- ◇ 本校のスクールマート「ひのう」でモッツァレラチーズを販売できた。
- ◆ 実際に食べた方や加工品の認知度が低いので本校加工品で広めたい。
- ◆ アンケートでは高い評価を得たので定期的に販売していきたい。
- ◆ 定期的な販売を行い、酪農・乳業界の活性化につなげたい。

○ 環境モニタリングを活用した高品質のトマト栽培の研究(園芸科学科)

- ◇ スマートフォンを活用し、自動でハウス内の環境を調節することで、最適な環境でトマトの栽培ができ、労力の省力化につながった。
- ◇ 週1回の栽培データの共有と、LINE を使用した灰色カビ病発生の注意喚起など、地域と連携したトマトの栽培ができた。

- ◇ モニタリングデータを活用し、ハウス内温度と湿度をコントロールすることで、灰色カビ病の発生を抑制し、反収16トンを達成できた。
- ◆ モニタリングしたデータを有効活用して、高品質なトマトを安定的に生産したい。

○ 飛騨地域の安全・安心な生活環境を守り、豊かな森林資源を守る活動

(環境科学科)

- ◇ 森林や環境保全に関する企業の地域における取組を知ることができた。
- ◇ 防災士の指導の下、両キャンパスの学校周辺防災マップの制作ができた。
- ◇ 学科の学びが、地域社会に密接につながっていることが確認できた。
- ◆ 取組の目的や目標を十分に検討し、道筋(流れ)を確認することで、さらに他学科との連携を進めたい。

○ ビジネスで必要な情報発信力を身に付け、郷土の魅力を高校生の視点で情報発信することを通して、より多くの人に地域の良さを知っていただくとともに、地域の事業者を応援する活動(ビジネス科)

- ◇ 普段利用している「Instagram」を、ビジネスで初めて活用し、講義や実践を通して多くのことを学ぶことができた。
- ◇ 地域の良さに目を向けることで、これまで以上に、地域への愛着や誇りを持つことができた。

○ 「ドローン」の自動操縦プログラミングの研究(ビジネス情報科)

- ◇ ドローンと操作端末の接続設定から始め、自分たちの操縦で飛行できた。
- ◇ 体育館・グラウンドにて、人的な障害物を置いた状態で、ドローンの自動操縦プログラミングに成功した。
- ◇ 自分たちが撮影したドローン動画の編集をした。
- ◆ ドローンの活用方法を探り、さらにいろいろな場面で活用したい。
- ◆ 高度な編集方法(クロマキー合成等)を学習し、ドローンで撮影した映像を編集し、編集した動画をホームページやSNS等で発信したい。

○ 地産地消と新しい食材の活用に関する課題調査と地域への提案

- ◇ フィトケミカル食材を活用したレシピを考案できた。(生活デザイン科)
- ◇ 地域連携を通し、「つながる学び」を実感することができた。
- ◇ 他学科との「つながる学び」ができた。
- ◇ 地元情報誌「BLESS」に掲載された。

実践をとおした意識変化(アンケート:1年174人、2年145人、3年127人)

- ◇ 飛騨地域への理解を深め、将来地域で活躍したい思いを高められました。
- 飛騨地域における地域資源(観光資源、自然環境、伝統文化、伝統技術、飛騨ブランド、特産品など)について興味・関心がありますか?
 - ・ 興味・関心がある(1年18%→2年22%→3年28%)
- 将来、この地域で自分の力を生かしてこの地域に貢献したい(もしくは働きたい)と考えていますか?
 - ・ 地域に貢献したい、働きたい(1年35%→2年30%→3年60%)

